YOKASEIKEI JUNIOR HIGH SCHOOL



八鹿青溪



貫徹・慎独・創造 養父市立八鹿青渓中学校 校報 (令和7年11月13日) 第15号

コミスク教育目標 「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青渓っ子の育成」

八鹿青渓中 HF

秋の深まりとともに深化する 子ども達の「絆」&「学び」

職員室の窓から見える景色が美しい秋色に染まり、目を楽しませてくれます。本校のシンボルツリーである「欅(けやき)」もすっかり黄葉し、せわしなく葉を落とし始めました。

そのシンボルツリーの周りに、今週に入ってから人だかりができるようになりました。美化委員会の呼び掛け

で始まった「落ち葉拾い」に賛同するボランティアの輪です。登校した生徒が一人また一人と輪に加わり、少しずつその輪が大きくなってきました。箒がない生徒は一枚一枚手で拾い、袋に入れています。玄関先や校舎際まで飛び散った葉っぱを、数人がかりで丁寧に掃き集めている姿も見られます。自分の意志で自主的に行動しているからでしょうか、有用感からでしょうか、どの顔も満ち足りて見えます。「創造の庭」に、子ども達の笑顔があふれています。



八鹿青渓っ子の絆と学びは、教室以外の場所でも深まりつつあります。









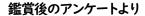
仲間や先生との「絆」を実感 感動の「合唱コンクール」

Ⅰ Ⅰ 月6日(木)、YBファブ(やぶ市民交流広場)をお借りして、合唱コンクールを開催しました。どの学級も、

歌詞やハーモニーを大切にしながら、素晴らしい合唱を披露してくれました。(学校 HP でも紹介中。右は保護者の感想の一部です。)

合唱の部の締めくくりは、全校合唱「大切なもの」。その歌詞のとおり、「一人きりじゃないこと、大切なものを君が(仲間が)教えてくれた」合唱練習であり、合唱コンクールでした。卒業を間近に控えた3年生にとっても、I・2年生にとっても、仲間との絆が深く強くなるのを実感できた「文化週間」となりました。

第2部の招待演奏「Jazz Live」では、田中愛子さん、勝地哲平 さんの息の合った演奏と、やびき Nandee あきこさんの迫力ある 歌声に生徒は大盛り上がり! 音楽の魅力を堪能した半日でした。



★とても感動いたしました。学年があがる ほどにレベルがあがり、3年生に憧れて いることに納得です。また、これから入学 する弟や妹がいます。部活動がなくなる ので勉強ばかりの中学校生活では味気 ないように思い、不安に感じていました。 体育祭や合唱コンクールに向けて夢中で 励む姿を感じ、その過程も素晴らしく思い ました。これからも続くことを願います。

★今回初めて合唱コンクールを参観しました。ホールを貸し切っての合唱コンクール、生徒たちの歌声が響き渡り素敵でした。一生懸命練習されたんだろうなと思いながら、聴かせていただきました。心が洗われるように感じ、感動をもらい、とても贅沢な時間でした。

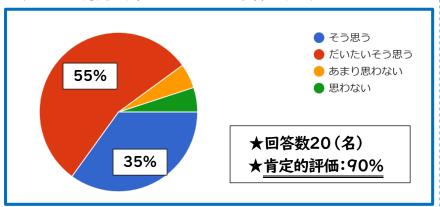


ブラボー!

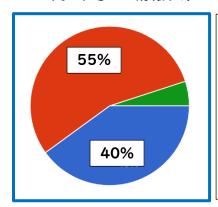


「文化週間」参観後のアンケートより

Q:生徒は、本時の目標を達成するために、クラスメイトと協力したり 他の人の意見を聞いたりしながら学習に取り組んでいたか。



Q:生徒は、進んで情報収集したり、分析・表現したりしていたか。



★回答数20(名)

★肯定的評価:95%

※Q2・3ともに、「そういう場面がな かった」というご意見を、「思わな い」に分類しています。

※いただいたご意見は学校運営お よび授業改善に生かしてまいりま す。ご協力ありがとうございました。









【お寄せいただいた感想】

*タブレットを有効に活用した授業をして いただいていたと思います。

*オープンスクールの期間が長く、タイミ ングよく参観できありがたかったです。音 楽の授業、先生も生徒も合唱コンクール に向けていきいきしていて楽しかったで す。ありがとうございました。

*授業の様子を見ることができたのも良 かったですが、展示されている作品を見 ることができたのも良かったです。絵など のクオリティの高さ、探究心など色々感心 しました。

*楽しそうな雰囲気で授業されていて良 かった。発表会楽しみにしておきます。

*楽しそうな授業でした。自分も勉強にな りました。

*席を少しずつ前に詰めて、教室の中に 入って参観できればよかった。

*タブレット学習になり、何をしているか 分かりにくいなと思いましたが、子供達は ざわつくことなく話し合っていて感心しま した。

*中学校での授業の様子を見せていただ きありがとうございました。落ち着いて学 習する姿に安心しました。PTA 講演会、 東野先生が来られるということでとても楽 しみにしてきました。とてもためになる話 でしたが、保護者の参加が少なかったの が残念でした。

*先生の質問に挙手で発表できていた。 落ち着いた雰囲気で、安心感があった。

「PTA教育講演会」「子育ての 配 視点」 講師 東野昭彦 氏(耕せにっぽん代表)

「人を喜ばせることこそ人生。人の役にたってこそ人生。」をモットーに、全国各地で講演を行っておられる東野さんの熱 い思いが、余韻となって残る講演会でした。AIと人との違い、自分が人生の経営者であること、「考え方が変われば行動 が変わり、行動が変われば未来が変わってくること」などを、クイズや対話を取り入れながら伝えてくださいました。

講師の東野様と、貴重な学びの機会を与えて下さったPTA研修部の皆様に、心から感謝申し上げます。